

事務事業名		観光施設整備事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		観光課		事業種別	政策	開始	1	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり					
		施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化					
目的	対象(誰・何を)	観光施設			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	観光客の利便性と快適性の向上を図る				整備を必要とする観光施設(カ所)		14	
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	定性目標	観光施設を整備することで観光客の利便性と快適性を向上し、観光地としての魅力を高めリピーターの確保につなげる。							
事業概要	観光客の利便性を高め、受入環境を向上させるため、観光地等の施設改修及び四阿、看板、遊歩道等の施設を整備する。団塊の世代が山岳観光に高い関心を示している中で、登山道及び誘導ルートの安全整備を実施する。施設の安全利用と保守につながる環境整備事業を実施する。								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	観光施設の整備改修工事 (1)大平宿保全事業の推進 (2)沢城湖周辺整備 (3)山岳観光・遊歩道整備 (4)猿庫の泉周辺整備				(1)民家修繕と周辺整備 (2)整備箇所 (3)整備箇所 (4)整備箇所		(1)2カ所 (2)3カ所 (3)3カ所 (4)2カ所		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		3,272	7,270	7,268	2,745	[27特定財源] (そ)ふるさと寄付金			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他				200					
一般財源		3,272	7,270	7,068	2,745				
人件費計(千円)②		1,788		1,788					
正規職員所要時間		500		500					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		5,060	7,270	9,056	2,745				
事業内容・目標達成状況の振り返り		老朽化した施設を中心に整備を行った。							
改革改善の考え方	①問題点	老朽化した施設が多い。							
	②改革提案	限られた予算の中、安全性を最優先した環境整備を行っていく。							